

2017年3月パナマ政情(内政・外交)

1 内政

(1)オデブレヒト社による贈賄事件

2日、検察庁は、会計検査院にオデブレヒト社が受注した公共事業の監査を行うよう求めた。対象となる公共事業は、トリホス政権(2004-2009年)、マルティネリ政権(2009-2014年)及びバレーラ現政権で入札された①レミヒオ・ロハス灌漑システム、②シンタ・コステラ第1期、③シンタ・コステラ第2期、④パナマ・コロン間高速道路、⑤コロン高速道路、⑥パナマ湾浄化事業、⑦クルドゥ地区再開発計画、⑧メトロ1号線、⑨旧市街歴史遺産保存計画、⑩メトロ2号線、⑪コロン地区再開発計画。

(2)エンダラ環境大臣の辞任

18日、エンダラ環境大臣は、政府の公式行事において、一身上の都合により環境大臣を辞任する旨表明。バレーラ大統領は、同大臣の辞任は3月31日付、サンプリス環境次官が大臣代行を務めると発表した。

2 外交

(1)バレーラ大統領のコスタリカ訪問

ア トウクストラ首脳会合

29日、コスタリカで開催されたトウクストラ首脳会合において、バレーラ大統領は、治安及び移民管理は地域的課題であり、これらの問題への対策を強化することを呼びかけた。同大統領は、パナマがSICA議長国を務める本年後半、組織犯罪対策及び移民管理強化に取り組む旨述べた。また、治安、移民、気候変動及びエネルギー分野においてパナマの果たす役割、並びに2019年にパナマで開催されるワールドユースデーに言及しつつ、パナマは、地域安全保障及び組織犯罪の脅威から我々のサービス及び物流プラットフォームを守るため必要な対策を採ることを約束する旨表明した。なお、サイン・マロ副大統領兼外務大臣他が同行した。

イ 二国間会談

(ア) コロンビア

トウクストラ首脳会合の機会を利用して会談したバレーラ大統領とサントス大統領は、コロンフリーゾーンから再輸出される繊維製品及び靴に対する複合関税を撤回するよう命じたWTOの裁定を受けて、昨年11月にコロンビアが発した大統領令第1745号を柔軟なものにする(flexibilizar)ことに合意した。また、治安及び移民問題における優れた協力を強調し、国境を越える犯罪への対策に関心を有する旨改めて表明した。バレーラ大統領は、コロンビアにおける和平協定署名を改めて祝福するとともに、コロンビアの麻薬栽培の代替及び撲滅への挑戦に立場を同じくする旨述べた。

(イ) 墨

ペニャ・ニエト大統領は、パナマがSICA議長国として取り組む予定の治安及び移民管理を支持する旨表明した。また、治安、移民、観光、投資及び金融の透明

性にかかる分野において成果を得られるよう関係を維持することで合意した。

(ウ) グアテマラ

モラレス大統領との会談において、SICAの機能強化で一致した。また、麻薬密輸、人身取引及び不正規移民についても協議された。

(エ) コスタリカ

ソリス大統領との会談では、両国間の重要課題として国境地域における治安問題につき協議した。

(2) ベタンクール治安大臣の米国訪問

23日、米パ首脳会談準備のため米国を訪問したベタンクール治安大臣は、米南方軍、国防省及び国務省関係者と会談し、治安、麻薬及び非正規移民等パナマ及び中米地域における問題について協議した。また、同治安大臣は、ティラーソン国務長官主催の対イスラム国連合閣僚会合に出席した。なお、ロペス国家安全保障会議事務局長及びデル・ロサリオ治安次官他が同行した。

(3) 北朝鮮のミサイル発射

6日、パナマ政府は、外務省プレスリリースを通じて、北朝鮮による4発の弾道ミサイル発射に対し、国連等の国際機関による決議に違反し、地域の緊張を高める行為であるとして非難。

(4) ベネズエラ情勢

ア 30日、パナマ政府は、大統領府プレスリリースを通じて、ベネズエラ最高裁が同国議会の権能をはく奪(Eliminar)する判断を下し、ベネズエラの政治的、経済的、社会的及び人道的状況を悪化させたことへの深い懸念を表明。

イ 31日、バレーラ大統領は、「状況改善のため各国と共に与野党間の対話に同席する用意がある」と表明した。